



城岳同窓会



「コロナ禍でも同窓会活動は 停滞させない！」

一般社団法人 城岳同窓会

会長 宮里 博史 (21期)



城岳同窓会会員の皆様、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より同窓会の活動にご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、本年は沖縄県の本土復帰50周年を迎えて、50年の歩みを振り返り、また将来の沖縄県のビジョンに想いをめぐらす良い機会となりました。しかしながら一方では、一昨年に発生した新型コロナウイルス感染症は県内においても猛威を振るい日常生活、経済活動、医療体制、地域行事等でこれまでに経験したこともない多大な混乱をもたらしました。

この2年間の同窓会の活動においても、新型コロナ禍いくつかの事業で中止、縮小、延期を余儀なくされましたが活動を停滞させないよう様々な工夫をしながら事業の推進を図ってきました。母校支援事業の一環として例年春休みに1年生を対象に実施してきた「ハワイ・ショートステイ・プログラム」は3年連続派遣することができませんでしたが、このプログラムの対象である1年生の期待に応えるため、本年3月には代替事業として、ハワイ・イオラニ・スクールとZoomを活用してオンライン交流会を「万国津梁館」で行いました。1年生5名が事前学習して学校紹介や高校生活、首里城焼失と復元の状況、「万国津梁館」がG8サミット会場であったことの紹介、新型コロナの影響等について意見交換を行うことで貴重な体験になったことと思います。

また毎年5月に行う定時社員総会も過去2年間は書面開催でしたが本年は3年ぶりに対面での開催を行いました。懇親会は残念ながら3年連続中止となりました。例年なら卒業60周年を迎える皆様に対し総会後の懇親会で共にお祝いをしておりましたが、本年は形式を変えて10月1日に「なは〜と大劇場」で第14期生、第15期生合同の祝う会とし、

併せて創立110周年の歩みを紹介するDVD上映、在校生合唱部、ダンス部演舞を披露しました。今回の企画・運営、パンフレット作製は第44期生の皆様に担当して頂き心より感謝申し上げます。

6月23日には二中健児の塔慰霊祭を4年ぶりに城岳公園にある二中健児の塔において、参列者人数を制限して挙行いたしました。慰霊祭には同窓会として「至誠友好交流協定」を結んでいる兵庫県立兵庫高校同窓会「武陽会」からも新居理事長他2名にも遠路ご参列頂きました。

こうしたコロナ禍でも同窓生皆様が県内外各分野で目覚ましい活躍をされ、叙勲等公的表彰を受けられた方、要職に就かれた方も多数おられます。また、同窓生による著作も多数発表されています。こうした活躍ぶりは同窓会及び後輩たちにとっても大変喜ばしくかつ誇りとするところであります。

母校の生徒たちも「和衷協同・積極進取」の校訓のもと文武両道で頑張っております。

これら同窓会の活動や同窓生の活躍状況、学校の情報は同窓会ホームページや会報紙、学校のホームページ等で紹介しておりますので是非ご覧ください。

新型コロナ禍同窓会活動にも何かと制約がありますが、創意工夫しながらこれまで同様母校の支援及び同窓生相互の交流促進、同窓会活動の充実に向けて取り組んでまいります。皆様のご支援をよろしく申し上げます。

来年5月には、コロナ禍も収まり総会後の懇親会を盛大に開催して高らかに校歌斉唱できることを期待しております。

ごあいさつ

那覇高等学校 学校長

石原 啓 (34 期)



城岳同窓会会員の皆さま、こんにちは。

このたびは、城岳同窓会会報第 28 号の発行、まことにおめでとうございます。令和 3 年 4 月に、沖縄県立那覇高等学校第 28 代校長として赴任し、2 年目となっています。

今年度のスタートも新型コロナウイルス感染症の影響を受け、入学式は新入生とその保護者 1 名の参加で開催いたしました。その 1 週間後には、過去 2 年余りの感染症予防対策に対する慣れや気の緩みがあったのか、2, 3 年生の間で感染者が増加して、2 日間の学年閉鎖を行いました。このことで生徒の感染症対策への意識が高まったのか、新入生歓迎球技大会や遠足（昨年度は中止しています）を開催することができました。

その後も感染者は後を絶ちませんでしたが、学校教育は継続し、様々な活動制限はありましたが、生徒は、学習活動と部活動の両立に励んできました。体育系部活動の集大成である令和 4 年度沖縄県高等学校総合体育大会では、女子サッカー部が初優勝を遂げるなど学校別総合成績第 4 位と躍動し、多くの競技で九州・全国大会に出場しました。野球部も 3 回戦（ベスト 16）に進出しております。文化系部活動も東京で開催された全国高等学校総合文化祭に県代表として数多くの部活や生徒が参加しています。

今年は、1972(昭和 47) 年 5 月 15 日から数えて、復帰 50 周年の節目ということで、関連する式典に合唱部が参加し、その番組を視聴した方々から「制服が懐かしい」「素晴らしい」等、多くの激励のことばをいただきました。ありがとうございました。10 月末から開催予定の世界のウチナンチュ大会にも合唱部が参加予定ですので、応援をよろしくお願いたします。実は、合唱部は、吹奏楽部の生徒が兼ねているのですが、県の吹奏楽コンクールで金賞及び県代表となって熊本県で開催された九州大会に

も参加しております。

また、部活動に汗を流す生徒だけでなく、夏休みに勉学に励む生徒の姿も多く見かけました。大学進学に向け夏期講座を受講する生徒や進路相談、自習のために早くから登校し、一生懸命取り組んでいる生徒達です。1 日 10 時間以上も勉強しているという声も進路指導部に届いていたようです。日々できること、やらなければならないことを頑張っているそれぞれの生徒の夢実現が叶うよう願っています。

さて、昨年度の体育祭は残念ながら開催できせんでしたが、PTAのご理解とご支援をいただいて、グラウンドでの全体演技をドローンを使用して空中撮影し、その映像を皆で観賞することができました。今、この原稿を 8 月下旬に書いていますが、9 月には 3 年に 1 度の「城岳祭」を開催する予定となっています。従来の城岳祭に比べ、規模や内容を縮小・工夫して準備を進めているところですが、この会報第 28 号が発行される頃「城岳祭開催できたね、良かったね」とのことばがいただける事を願っています。

城岳同窓会、遺族会と共に主催しております「二中健児の塔慰霊祭」が、この 3 年間は、天候不順やコロナ禍のため学校や城岳会館内で開催していましたが、今年度は晴天の下、兵庫県の武陽会から 3 氏のご参列もいただいて城岳公園内の二中健児の塔の前で、在校生も含め参列者 100 名規模で開催できましたことは、大きな喜びでありました。城岳同窓会の皆さまには、奨学金制度やハワイへの留学制度等、多大なご支援をいただいているところでありますが、これからも生徒達への引き続き激励をお願いいたします。

結びになりますが、城岳同窓会のさらなる発展と会員の皆さまのますますのご活躍、ご健勝を祈念申し上げます。

城岳賞

令和3年度(2021年)は、県内大会図画部門で最優秀賞、第31回沖高文祭美術工芸部門に於いて優秀な成績を収め、九州大会、全国大会へと派遣される等素晴らしい実績をおさめた美術部へ城岳賞と副賞を贈呈した。



與那覇博明副会長から城岳賞を贈呈



続いて副賞を贈呈

卒業式・同窓会入会式

令和3年度(2021年)第75回卒業式が令和4年3月1日那覇高校体育館に於いて、今年も新型コロナウイルス感染禍拡大の中、卒業生・保護者1名と入場が制限され厳粛なうちに挙行された。



緊張した表情で第75期生390名が整列



クス玉から「卒業明日へ踏み出せ」



同窓会入会式で代表幹事の大島夢美さんの挨拶



引き続き金城元気さんから決意が表明

海外ショートステイ・プログラム

令和4年度（2022年）もコロナ禍でハワイ派遣は中止になりましたが代替事業として、3月12日に那覇高校と Iolani School とのオンライン交流を万国津梁館で実施しました。



ブセナ・テラス平尾紀彦支配人（38期）と一緒に



オンラインでそれぞれの意見を交わした。



お互いのインスタを交換して終了



ビジネスルーム前で

第3期SAP事業（2023年2月25日～3月19日）がりゅうぎん国際化振興財団から助成金を受ける。



右奥から金城棟啓理事長、砂川哲律氏、富山麻美氏らが来所。



金城棟啓理事長から宮里博史会長へ助成金の贈呈



第3期SAP派遣説明会を8月30日（土）に行った。



第3期SAP派遣者面接を9月24日（土）に実施して、村上凛佳（りんか）さんと下地陽斗（はると）君の2人を決定した。

A氏奨学金第14期生

一般社団法人城岳同窓会では、「学業・人物ともに優秀で経済的理由により、学業継続が困難な者に対して奨学金を給与する事により、地域社会や城岳同窓会へ貢献できる優秀な人材を育成する。」ことを目的に奨学生を募集する。平成20年にA奨学金制度がスタートして本年度で14年目を迎え、その間に40名が希望の大学へ進学しました。その中から海外へ留学するなど多くの奨学生が優秀な学生・社会人として県内外で活躍しています。本年は第75期卒業生から3名を第14期奨学生として決定した。



前列左から比嘉健雄、宮里博史会長、パンキュビッチ アンジェリーナ、糸洲 花、後列はそれぞれの保護者

A氏奨学金 第14期生

けんゆう
比嘉 健雄 さん

中京大学 国際学部
言語文化学科 複言語・複文化学専攻

パンキュビッチ アンジェリーナさん

日本女子体育大学 体育学部
ダンス学科

はな
糸洲 花 さん
沖縄県立看護大学

奨学金支給額

県内：月額 30,000 円×12月（年額：360,000 円）

県外：月額 50,000 円×12月（年額：600,000 円）



第2期奨学金の支給を宮里博史会長が行い激励する。

入学式

令和4年度（2022年）第77回入学式は4月7日に那覇高校体育館で吹奏楽の演奏に合わせて新入生401名が堂々と入場。今年もコロナ禍で、保護者1名、PTA・同窓会各2名の参加で徹底した感染対策の下で行われた。



新入生401名が勢揃い



感染対策として生徒代表2名による校歌斉唱

定時社員総会

令和4年度（2022年）の総会は城岳同窓会館で開催しましたが、懇親会は本年も中止となりました。しかし、「那覇高校第14期生・第15期生卒業60周年記念合同祝い」を10月1日に那覇文化芸術劇場なは一とに於いて開催する事となりました。



宮里 博史会長による挨拶



総会終了後、春の叙勲で瑞宝小綬章を受けた名嘉山興武氏（17期）に花束を贈呈

慰霊祭

沖縄戦が終結して77年、今年も「慰霊の日」がめぐって参りました。本年は久しく慰霊祭を城岳公園内の「二中健児の塔」で101名が御霊を慰めるとともに、平和の誓いを新たにしました。また、武陽会から新居大典理事長、玉田圭司事務局長と藤原康延理事が参列されました。



護国寺 名幸 名誉住職と新居理事長による読経



生徒会長 赤嶺^{りひと}仁理による「誓いの言葉」



遺族によるご焼香



生徒による焼香

キックオフ

令和4年度（2022年）の定時社員総会は久方ぶりに対面で実施しましたが、懇親会は中止し、「那覇高校第14期生・15期生卒業60周年記念合同祝い」の開催に向けたキックオフを行いました。



参加者全員で



実行委員長 二 禰 雄 征 (四四期)

県立二中
那覇高等学校

城岳同窓会 2022 ぐすーじさびら

14期生
15期生

集え!! きり拓こう未来を!! 復帰っ子が結ぶ 二中・那覇高の絆を!!

県立二中・那覇高等学校 城岳同窓会 2022 ぐすーじさびら 14期生・15期生 集え!! きり拓こう未来を!! 復帰っ子が結ぶ 二中・那覇高の絆を!!

のキャッチコピーで卒業60周年を迎えました14期生・15期生の合同祝いを開催しました。2022年10月1日（土）那覇文化芸術劇場なはーと大劇場にて17:00～19:00開催。

コロナ禍で3年間開催出来ませんでしたが、今年はコロナウイルス感染の様子を見ながら無事開催する事が出来ました。開催したとはいえ完全収束では無いのでマスク着用、手指消毒、大声会話禁止、等々を参加者には飲食を伴わない状況で、ご協力を戴きました。その為「チケット販売はなかなか大変だった。」と皆さんおっしゃっていました。



ロビーでは14期生、15期生、一般同窓生と3か所での受付が次第に混雑してきた。

関東城岳同窓会からは事務局長の伊波克雄氏（13期）、関西城岳同窓会から大城一成会長（20期）が参加下さり、舞台でもお二人からご挨拶を戴きました。

来年こそは、コロナが収束して、例年どおりの総会・懇親会が出来る事を祈念します。

50人の合唱部が花を添えてくれました。



宮里 博史会長のご挨拶



石原 啓校長のご挨拶



安次嶺 馨氏から
14期生代表挨拶



嘉納 勝氏から
15期生代表挨拶



次期実行委員の高良勝盛氏
(45期生)が「来年はハー
バービューホテルで盛大に
開催します。」と力強く宣言。▶



関西城岳同窓会長の
大城一成氏(20期)が関
西城岳同窓会旗を持っ
て登壇。



関東城岳同窓会事務局
長の伊波克雄氏(13期)
からのご挨拶。



ダンス部の躍動感あふれる演舞には元気を貰いました。

社会福祉法人ニライカナイ



- ・障がい者支援施設 鶴生の叢 (こうせいのむら) ・デイセンターおおさと
- ・デイセンター那覇 ・相談支援センターあしすと ・グループホーム翔
- ・就労センター大樹 ・こども発達支援センターのびと

理事長 豊村 良春 (17期)

〒901-1203 南城市大里字大城 1388 番 1 TEL (098) 946-7177 FAX (098) 946-7120
E-mail info@kouseinomura.org <http://www.syahuku-niraikanai.com>





マスクをしながら二中・那覇高校歌を斉唱。



「コロナ禍のなか実行委員会としての取り組みの難しさを乗り越え、今日の合同祝いを盛会裏に終えた事は44期生の結束のお陰です。」と感慨深げに語った、統括の備瀬健一氏。



勢揃いした華の14期生。



15期生の皆様。



常磐なる那覇高校

国立劇場おきなわ 芸術監督

金城 真次 (59期)

思い返せば、在校中もひたすら芸能…芸能…。気がつけば三年が経ち、卒業。卒業後は県立芸術大学に進学しましたので、そこでも芸能のことばかり考えていたように思います。今やっと母校に恩返しができるチャンスが到来しました。少しばかり、私の拙い文章にお付き合いくださいませ。

私の大好きな踊りに「若衆こてい節」という古典舞踊があります。若衆というのは琉球王朝時代の元服前の士族の少年のことです。祝儀舞踊のなかでも大変厳かな扇子舞で、十代の頃は年相応でよく踊っていた踊りですが、三十代に入ったあたりからは急激に踊る機会が減りました。この踊りの魅力は、何と言っても歌詞だと思っています。

「常磐なる松の 変ること無いさめ いつも春来れば 色ど勝る」

松の緑が年々深まっていくのは、大変喜ばしいことです。この歌詞を純真無垢な少年が踊ることで、未来への希望が感じられるのです。私はもう高校生には戻れませんが、若衆だった頃の白き心はいつまでも忘れないようにと、肝に銘じているつもりです。

私は現在、実演家と並行して、国立劇場おきなわの芸術監督を務めております。パソコンとにらめっこをしたり、会議に参加したりと、不慣れな仕事に取り組んでいますが、時間が過ぎていくのを忘れるくらい、やり甲斐のある仕事でもあります。私の前任の嘉数道彦さんも那覇高出身で、私は八年後輩にあたります。嘉数さんは稽古中ほとんど



古典女踊り「伊野波節」

お話をなさらない方ですが、舞台上立つと、いつも味わい深い芸を見せてくださる

貴重な先輩です。琉球舞踊界の大先輩方の中にも、那覇高出身者がいらっしやいます。玉城節子先生、佐藤太圭先生、鳥袋君子先生、今は亡き神村真紀子先生など、この先生方の後輩と言えることが、私の数少ない自慢なのです。そして、よく組踊の舞台で共演させていただいている宮城茂雄さんの存在を忘れるわけにはいきません。宮城さんは私の六年先輩にあたりますが、私はいつも助けられてばかりで、未だに「おんぶに抱っこ」の言葉がピッタリとあてはまります。素晴らしい先生方、先輩方に恵まれて、私は本当に幸せ者です。二年後輩の竹田祐規さんも、琉球古典音楽安富祖流の演奏者として着実に力を付け、その頭角を現しています。頼もしい限りです。

あの頃教鞭をとっておられた先生方はお元気だろうか…、学窓で笑い合った同級生たちはどうしているのだろうか…、近頃、そんなことを考えるようになりました。いろんな顔が思い浮かびます。松尾あたりを運転していると、未だに那覇高校に向かいたくなります。校舎は様変わりしていますが、今でも「那覇の中心地」という重厚感を醸し出しています。まさに「常磐なる松の 変ること無いさめ」の通りで、今後とも在校生各々の色がどんどん深まっていくことを祈るばかりです。



山城 整形外科 医院

院長 山城 千秋 (25期)
山城 裕子

那覇市樋川 1-18-22 TEL.098-836-1100

祝

那覇高校第14期生・第15期生
卒業60周年記念合同祝い

嘉数 昇明 (14期)



一般社団法人城岳同窓会 会長 (第8代)



島田叡氏 事跡顕彰期成会 会長



コロナ禍で奏でるということ

ピアニスト

知念 杉子 (38期)



忘れもしない2020年2月23日、前日に一つの演奏会を終えて、その日は隣町^{※1}にある劇場^{※2}での再演を控えていました。

Covid-19による感染症がイタリアでも見つかったというニュースが少しずつ聞かれるようになって辺りがざわつき始めた頃でした。演奏会に出演するため運スエーデンのストックホルムから来伊した同僚と一緒に朝のニュースを確認して、私たちは車に乗り込み、劇場へと向かいました。到着していつものように演奏のことを考えながら入口に差し掛かると、門番の男性がやって来て、仁王立ちで「今日の演奏会は中止です！」と私たちに告げました。最初は、またイタリア人特有の冗談混じりの挨拶かと思い、こちらも笑みを返したけれど、門番さんの様子は変わらず、おまけに肩越しに見える扉には、お役所からの封印がペタッと貼られており、何と無しにこれまで経験したことのない未曾有の事態の始まりを実感しました。さあどうしよう、まずは中止の知らせを出さなくては、あたふたしていると、携帯電話に「明日から学校休みなんだって！再開の目処は立っていないって！」予期せぬ休校に喜び子供の声、昨日までの平常が一変した瞬間でした。程なくして感染が爆発し、政府は学校などの教育機関、オフィス、国境などを閉鎖し、都市封鎖(ロックダウン)に踏み切りました。

1993年、イタリア語に関しては音楽用語程度の知識しかなかった私は、「知念さんは、育った環境上にあるイタリアで勉強すると良いね。」と言う恩師の言葉を鵜呑みにイタリア留学を決めました。私は高校生活では合唱部に伴奏で参加させてもらってました。先にイタリアへ留学され既に活躍されていた合唱部の先輩に大変お世話になりながら、ミラノでの留学生生活をスタートさせました。

多くの留学生が体験するであろう諸々のサプライズに泣き、「育った環境上」とは裏腹のカルチャーショックと、たまに押し寄せてくる感動の波に浮き沈みしながらも、イタリアの魅力にどんどん引き込まれていきました。2001年ノットゥールノミラノ音楽文化協会を設立し、後進の指導に携わりながら、ミラノを拠点にヨーロッパ各地で演奏会に出演させていただいていました。早いもの

で、イタリアに渡ってもう直ぐ30年が経とうとしています。

2020年、予期せぬCovid-19の感染拡大によって、イタリアでは真っ先にコンサート会場が閉鎖され、演奏会は大小問わず全てが中止となりました。人の命と健康を守ることを最優先するのは言うまでもありません。国民が一丸となって目に見えないウイルスとの戦いが始まりました。

音楽界も同様に突然突きつけられた現実に対応すべく、生の演奏会からSNSを活用したストリーミング配信やYouTube配信へと転換していきました。驚いたことに、活動範囲は一つの会場から世界の至る所へと広がっていきました。

約100年前のスペイン風邪、ペストの流行、その他数々の感染症を耐え忍び、その時代に順応した結果新たな形態が創成され、またそこから傑作が生まれたように、今回も時代の流れに乗って音楽自からコロナ禍を乗り越えようとしている様に感じられてなりません。規制が緩和され、会場への入場者数が1/4、1/3、1/2と徐々に増え、漸く明るい兆しが見えて来ました。ストリーミングライブ配信は継続ハイブリッドな形で行われるようになりました。これもまた、コロナ禍で生まれた新たなスタイルと言えるでしょう。

ロックダウンで街全体が静まり返った中、家の窓を開け、向かいのアパートのベランダで5、6歳の男の子とその父親が奏する縦笛と合奏したことは生涯忘れないでしょう。そして医療従事者への敬意と患者の回復を祈り、教会のスピーカーから突如と鳴り響いたイタリアンポップスも。音楽の息吹は、ある時は細々と、またある時は大胆に、いつの世の中でも途絶えることなく人の心に寄り添うことを確信しています。

最後になりましたが、城岳同窓会会報への寄稿にお声をかけて頂いた與儀先生に心からお礼を申し上げます。

※1 隣町：Busto Arsizio (ブスト アルスィツィオ)=町の名前

※2 劇場：Museo del Tessili (ムゼオ デル テッスィレ) = 織物博物館

沖縄空手・古武道連盟

会長 八木 明達 (17期)

〒900-0033 沖縄県那覇市久米 2-20-21
TEL. 098-868-6956

お住まい快適ですか!!

那覇高14期(1942年生)知念公男

遮熱/防水/塗装工事

その他 住まいのお困りごと 何でも承ります



本社：☎900-0033 那覇市久米 2-10-22 Tel. (098) 988-0121
八重山支店：☎907-0024 石垣市新川 2250-1 Tel. (0980) 82-6982

編集後記

3年ぶりに還暦卒業を祝う「ぐすーじさびら14期・15期生」を10月に開催できました。在校生の合唱やダンスにOBたちは青春の日々を思い出したことでしょう。幹事となった44期生の皆さん、ご苦労様でした。コロナ禍の中の復活の大変さは、備瀬健一統括の涙が全てを伝えています。まさに「集え!! きり拓こう未来を!!」です。

執筆いただいた知念杉子さん(38期)、金城真次さん(59期)、会員、企業の広告協力に感謝申し上げます。

会報は與儀幸英事務局長(20期)の記事・写真、宜壽次美智(45期)のレイアウト、編集後記・諸見里道浩(23期)でお届けしました。

城岳同窓会の終身会費について

一般社団法人城岳同窓会は会員相互の親睦を図るとともに、那覇高等学校の発展に寄与すること及び地域社会に貢献する事を目的としております。また、本会の経費は会員の拠出金、寄附金、事業収益金及びその他の収入をもって充ております。

さて、会員の拠出金は、年会費1,000円または、終身会費5,000円によって賄われております。年会費を一括で5,000円を納入した場合は、終身会費と見なし、以後年会費は徴収致しません。伝統校の誇りと自信に満ちた校風の継承と発展の為、同窓生一人ひとりの積極的なかわりごとご芳志をお願い致します。

振込先 琉球銀行桶川支店 店番号 314 口座番号 普通 338301

口座名義人 一般社団法人城岳同窓会 会長 宮里 博史(ミヤザトヒロシ)
ご芳名の前に卒業期をご記入下さい。

問合わせ 一般社団法人城岳同窓会 事務局 與儀 幸英
〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1丁目21番53号 TEL (FAX) : 098-867-2525

城岳同窓会館のご案内

「母校に同窓会館を」との声が同窓生の間から叫ばれ、同窓生各位のご尽力により平成8年に実現しました。会館は同窓会員の親睦の場です。会員のみなさん、どうぞご利用下さい。

- ・2階は二中・那覇高の歴史を後世に語り継ぐ資料展示室及事務室
- ・3階は会員のクラス会、会議、趣味の集まりなどに利用でき、収容人員は50人です。なお、使用料金(光熱費)は1団体:1時間800円です。
- ・4階は自学自習室として、学校が活用しています。

編集発行 一般社団法人 城岳同窓会

〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-21-53 電話・FAX 098-867-2525
事務局 E-mail:yogi@jogaku.or.jp

城岳同窓会ホームページ <http://jogaku.or.jp>

 **ITAC グループ**
Itokazu Total Accounting Company

税理士法人 タックスサポート・イトカズ

・宜野湾事務所

・那覇事務所

〒901-2214 宜野湾市我如古446-1

〒902-0061 那覇市古島1-4-9

TEL 098-898-3787 FAX 098-897-1064 TEL 098-871-4010 FAX 098-886-8140